

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 5 月 22 日 (2008.5.22)

【公表番号】特表 2007-536104 (P2007-536104A)
 【公表日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-048
 【出願番号】特願 2007-513149 (P2007-513149)
 【国際特許分類】

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

A 4 7 L 13/16 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 11/00 D

B 2 4 D 3/00 3 3 0 G

A 4 7 L 13/16 D

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 4 月 1 日 (2008.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

不規則に配列された繊維から構成される不織布と；該不織布の繊維に接着された、モース硬度が 2 以上の接着剤と；該接着剤によって不織布に接着された研磨粒子とを、有する実質的に嵩高な不織布研磨材において、

該研磨粒子が平均粒径 0.1 ~ 1 mm かつモース硬度 2 ~ 4 の軟質大寸法粒子と平均粒径 1 ~ 10 μm かつモース硬度 8 以上の硬質小寸法粒子とを含有してなる不織布研磨材。

【請求項 2】

前記軟質大寸法粒子の粒径が硬質小寸法粒子の粒径の 10 ~ 1000 倍である請求項 1 記載の不織布研磨材。

【請求項 3】

前記接着剤のモース硬度が軟質大寸法粒子のモース硬度と同程度である請求項 1 記載の不織布研磨材。

【請求項 4】

軟質大寸法粒子と硬質小寸法粒子との配合比率が 1 : 9 から 9 : 1 の範囲である請求項 1 記載の不織布研磨材。